

大学の動きを知る

—KyotoU News—

京都大学では、学生支援・社会連携・産官学連携・国際連携、また、卒業生の活躍の表彰、創立125周年記念事業等、各種取組を推進しています。京都大学Webサイトの「KyotoU News」では、これらのトピックスを紹介しています。

www.kyoto-u.ac.jp/ja/news

民間ファンドによる大型奨学金 「CFプロジェクト(Create the Future Project)」を設立

建築家 安藤忠雄氏、株式会社ニトリホールディングスを始めとする企業、個人の方々からの寄付を基金とし、経済的に困窮しながらも意欲ある学生を支援する「CFプロジェクト(Create the Future Project)」を2021年5月に立ち上げました。

CFプロジェクトは、高い向学心と研究マインドを有し、グローバルな活躍を志す京都大学の学部生・大学院生に対し、経済的な困窮や将来の不安を理由にその向学心を途絶えさせない経済的支援として、返済不要な奨学金の給付を行うことで、次世代を担う人材を育成し、社会に輩出してまいります。



左から、似鳥昭雄 株式会社ニトリホールディングス代表取締役会長、安藤氏、湊総長



奨学金のフライヤー

「湯川秀樹旧宅」の寄付を受け、大学施設としての活用計画開始

日本人初のノーベル賞受賞者である湯川秀樹博士が晩年を過ごした「湯川秀樹旧宅」(京都市左京区)が、株式会社長谷工コーポレーションより、本学の教育・研究等の諸活動を支援するため、2021年8月に寄付されました。旧宅は昭和8年建築の木造建築で、昭和32年頃から湯川博士が家族と

住み、晩年までを過ごしました。庭には、桜やモミジなど季節を感じさせる木々が配置され、博士はこの庭を愛でながら、自宅を訪れた研究者や弟子たちと交流を深めました。今後、国内外から訪れる研究者の交流サロンなど、利用計画について検討を進め、建築家 安藤忠雄氏の設計により、令和5年度の完成を目指しています。



湯川博士が晩年を過ごした旧宅



スケッチ画を前に設計への思いを話す安藤氏(右)と湊総長

「小野薬品・本庶 記念研究基金」を設立

2021年12月、小野薬品工業株式会社からのご寄付によって、「小野薬品・本庶 記念研究基金」を設立しました。

当該基金は、本学における独創的な基礎研究と小野薬品工業株式会社による粘り強い開発と事業化努力により、画期的な人のがん治療薬の実現に至ったという、産学連携活動の目覚ましい成果に基づくものです。

本学は、当該基金によって、我が国の将来の学術研究の推進を担う生命科学を主とする自然科学分野における優秀な若手研究者の育成とその研究環境の強化を実現し、国民の福祉と健康および社会の発展に貢献してまいります。

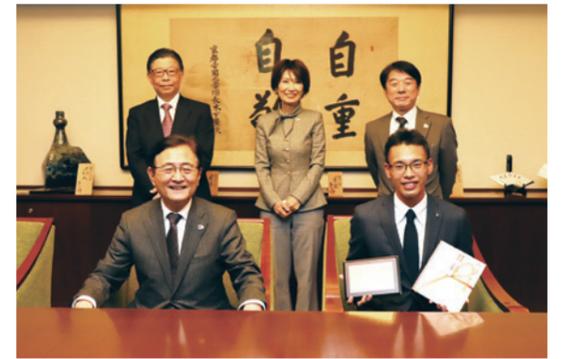


右から、相良暁 小野薬品工業株式会社代表取締役社長、湊総長

東京オリンピックメダリスト 山西選手に 京都大学総長特別栄誉賞を授与

各種スポーツ等で国際的に特に優秀な成績を取めた卒業生等を表彰する「京都大学総長特別栄誉賞」を2021年11月に創設し、2021年に開催された第32回オリンピック競技大会(2020/東京)男子20KM競歩において、見事銅メダルを獲得された山西利和氏の活躍を称えるべく、栄えある第1号受賞者として選出しました。

12月の表彰式では、湊長博総長から表彰状(盾)と目録が授与され、懇談の場では山西氏を囲み、競歩に取り組まれたきっかけや、競歩競技の特徴、日頃の練習の様子などに触れました。山西氏からは「次のオリンピックもメダル獲得を目指すので、応援よろしくお願いします」との発言があり、出席者からは激励と更なる活躍の期待を込めて盛大な拍手が送られました。



表彰状(盾)と目録を授与された山西氏

創立125周年記念ラッピングバスの運行開始、京都大学125年の歩みのパネル設置



ラッピングバスhoop



本部棟ロビーの記念パネル

2022年6月18日に創立125周年の節目を迎えるにあたり、学内外へ幅広く周知するため、京都駅から医学部附属病院を結ぶ「京大病院ライナー hoop (フープ)バス」と連携し、本学のエンブレムやロゴタイプなどのオリジナルデザインを施したラッピングバスの運行を3月30日から始めました。約半年間、市内の主要地を運行します。運行開始前日には、百周年時計台記念館前でラッピングバス2台をお披露目しました。また、本部棟1階ロビーに「京都大学125年の歩み」と題した創立125周年記念の年表パネル展示を新設し、併せてお披露目を行いました。

スイスのカシス大統領による公開講演会を開催

スイスの連邦大統領兼外務大臣 イグナツィオ・カシス博士を迎え、京都大学百周年時計台記念館にて「Science and Diplomacy to Meet the Challenges of the 21st Century」と題した公開講演を2022年4月に開催し、会場には教職員、学生など約250名の参加者が集いました。カシス大統領より、日本とスイスは共に科学とイノベーションの水準が高いことを踏まえ、科学と政治の融合としての科学外交が地球規模課題に対してどのような役割を果たせるのかについて話があり、その後、質疑応答が行われました。続くパネルディスカッションでは、湊長博総長、チューリヒ大学副学長と、スイス連邦経済・教育・研究省、スイス国立科学財団、国家研究評議会の各代表者により、日本とスイスの学術連携の意義などについて議論されました。



カシス大統領による講演

創立記念日に 「京都大学創立125周年記念行事」を実施

京都大学創立125周年の2022年、創立記念日である6月18日と翌19日の両日、ロームシアター京都にて記念行事を開催しました。

来賓、招待者を迎えての記念式典を挙行し、続く記念フォーラムでは本学に関わるノーベル賞受賞者11名とフィールズ賞受賞者2名が映像で紹介されたのち、「真理の探究と地球規模の課題解決」を統一テーマに、ノーベル賞受賞者の野依良治氏、小林誠氏、山中伸弥 iPS細胞研究所名誉所長・教授、本庶佑 高等研究院副院長・特別教授、吉野彰氏、利根川進氏による講演、ビデオメッセージがありました。また、湊長博総長をファシリテーターとして受賞者4名とパネルディスカッションを行い、若い世代にエールを送りました。フォーラムには本学学生や全国の高校生も含めて約1,000名を招待し、ライブ配信でも多くの方が視聴されました。



創立125周年記念フォーラム ノーベル賞受賞者パネルディスカッション

このほか、OB・OG講演会、アカデミックマルシェ、本学研究者と語り合うアカデミックデイ、体育会イベント、また、本学出身の音楽家と京都市交響楽団の共演による記念音楽会を開催し、一般の方々にも多数参加いただいて、盛会のうちに幕を閉じました。